



様々な苦痛を和らげ「**その人らしさ**」を支えるために



もとごと しょう
緩和ケア特定認定看護師 本里 翔

はじめまして。当院では2人目となります緩和ケア認定看護師を昨年度取得しました本里です。

突然ですが、皆様は「**緩和ケア**」という言葉聞いてどのようなイメージをお持ちでしょうか？



残された時間が少ない・・・
最後を迎えるときに行うもの・・・
もう助からないのでは・・・

近年は緩和ケアの重要性が認知されてきましたが、未だに上記のようなイメージが強いことが実情です。

緩和ケア認定看護師の役割は、疾患をもつ患者さんやご家族に対し、トータルペインの視点でアセスメントを行い、その人らしく日常生活を送ることが出来るよう支援することです。人にはそれぞれの価値観やライフスタイルがあるため、これが正解という看護はありません。その中で、患者さんにご家族の話聞き、専門的な知識や技術を活かし、最善の対応ができるよう努めていきます。

緩和ケアってなに・・・？



がんは日本人の死因で最も多い病気です。現在、3人に1人ががんで亡くなっています。このように身近な病気になったがん。あなたの大切な方もがんで悩んでいるかもしれません。

がん患者さんは、痛みや倦怠感などの様々な身体症状や、落ち込み、悲しみなどの精神的苦痛を経験します。緩和ケアは、がんと診断されたときから行う身体的・精神的な苦痛を和らげるためのケアです。



「緩和ケア」ではどのような看護を行っている？

1. 自身の病気を知り、治療法の選択を助ける
2. 痛みなどつらい症状を取り除くケア
3. 日常生活を取り戻すケア(食事・睡眠・清潔)
4. 心のふれあいを大切にするケア
5. ご家族へのケア
6. ご自宅でも緩和ケアを受けられるよう調整

最後に

これから緩和ケア認定看護師として、当院を訪れる患者さん、ご家族の身体的・精神的な苦痛を理解し、QOL(生活の質)の視点に立った水準の高い看護を提供することを目標としています。

日進月歩するがん医療・看護チームの中心的役割を担い、患者さん、ご家族、地域の方々、医療スタッフ1人1人に寄り添った活動が実践できるよう努めます。これからよろしくお願い致します。

